

学習プログラムの評価について

【目標】

学習プログラム開発におけるPDCAサイクルのプロセスや評価（アウトプット評価，アウトカム評価）の意義及び手法等について理解する。

ぱれっとひろしま

広島県立生涯学習センター



メニュー

- **講義**

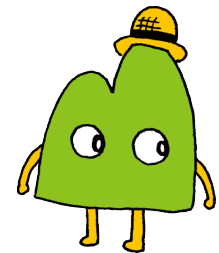
 - 学習プログラムの評価について

- **グループ交流**

 - モニタリングシートについて

- **全体交流**

- **まとめ・振り返り**



この研修で大切にしたいこと

- **自分を見つめ直し，振り返り**ましょう。
- **相手から聞き出す力**を育て合いましょう。
- **広い視野と当事者意識**を持ちましょう。
- 意見や考えの違いを乗り越え，他者と協働しながら，**課題解決**に取り組みましょう。
- **学んだことを仕事に生かす意識**を持って参加しましょう。

学習プログラムの 開発について

学習プログラムとは・・・

講座・行事等の集合学習の機会において、
住民の学習を支援するための計画

【構成要素】

- ・ どのようなことを**目的**とし
- ・ どのような**目標**をもって
- ・ どのような**活動**を
- ・ どのような**順序**で行い
- ・ どのような**学習成果**を生み出すか
(**学習者の意識や態度,行動の変容をもたらすか**)

「目的」と「目標」の関係

健康づくり

目的

学習成果

目標

富士山に登る！

学習成果

目標

1時間山登りをして
も、疲れない体力を
つける。

学習成果

目標

週に1回、
ウォーキングする。

学習成果

目標

学習成果

目標

近隣の登山に挑戦し、
登山仲間をつくる。

学習成果

目標

ストレッチで、けが
をしない柔軟な身
体づくりを行う。

学習プログラム開発の流れ (PLAN)

シートA

(準備シート)

テーマ

①個人の要望

②社会の要請

③地域課題の発見・分析

④学習目的の設定

⑤学習目標の設定

シートB

(個別事業計画)

- ・プログラム名
- ・対象・定員
- ・参加費
- ・事前に必要な知識や準備物
- ・留意点
- ・学習プログラムの展開
- ・評価(振り返りの方法)

展開

回	学習 テーマ	各回の学習目標 (○)と学習内容	学習 方法	学習 場所	学習 資源

シートC

(各回の実施計画)

- ・準備物
- ・会場図
- ・タイムスケジュール

実施計画

時刻	内容	留意点

「個人の要望」と「社会の要請」

シートA

① 「個人の要望」

住民の学習ニーズ

- 教養
(英会話, 読書, 地域の歴史, 自然観察)
- 趣味
(茶道, 俳句, 将棋, 音楽, 美術, カメラ, パソコン)
- 健康・スポーツ・レクリエーション
(ハイキング, 自然体験, 親子キャンプ)
- 家庭教育・生活
(子育て, 介護, 料理, 読書, 生きがい) ...

【調べる方法】

- ・ 住民調査 (アンケート)
- ・ 日常的な住民との交流

② 「社会の要請」

行政の重点課題, 施策の方向, 地域の課題

- 地域的な課題
人口減少・高齢化, 地域活性 (まちづくり), 絆づくり, 家庭・地域の教育力向上, 防災, 防犯, 伝統文化継承, 生活環境の改善, 地域の担い手 (ボランティア) 育成...
- 現代的な課題
科学技術の高度化, 情報化, グローバル化, 人権, 環境問題, 消費者問題, 男女共同参画医療, 福祉, 子供の体験不足, 貧困...

【調べる方法】

- ・ 行政資料 (総合計画, 基本計画)
- ・ 広報資料 ・ 統計資料
- ・ 日常的な住民との交流

③ 地域課題の発見・分析

「個人の要望」と「社会の要請」【例】

シートA

① 「個人の要望」

住民の学習ニーズ

- ・ ママ友がほしい。
- ・ 安心して子供と出かけられる遊び場や居場所がほしい。
- ・ 子育ての悩みを相談したい。

② 「社会の要請」

行政の重点課題, 施策の方向,
地域の課題

- ・ 核家族化等による子育て世代の孤立化。
- ・ 家庭の教育力の向上。
- ・ 地域で子供を育てる環境作り。

③ 地域課題の発見・分析

- ・ 子育てをしている親の育児不安を解消するために、地域ぐるみで子育てを支援する必要がある。
- ・ 子育て中の親同士のつながりが十分に築けていない。

④ 学習目的の設定

(地域課題解決の方向性を示す)

どのような課題を、どのような状態にするのか？

地域課題を

こうなってほしいという理想的な状態を考えてみる。

(学習目的の例文)

▲▲ (地域課題) を●●● (意図) ようにする。

※ 「●●●ようにする」の部分は、理念的なものでもよい。

- ・豊かな心を育てる。
- ・人材を育成する。
- ・地域の活性化を図る。
- ・道徳心を養う。
- ・ネットワークを形成する。
- ・仲間意識を育てる。

【例】

子育てをしている親の育児不安を解消するために、子育て中の親が、地域におけるネットワークを形成する。

⑤ 学習目標の設定

学習者に、どのような活動によって、どのような知識や技能を身につけてもらいたいのか、あるいは、どのような意識を向上したり、価値観を養ってもらいたいと考えているか？

ア 知らないことを知るようになること（知識）

【例】 親同士の交流を通して、いろいろな子育ての方法があることがわかる。

イ できないことができるようになること（技能）

【例】 子供と一緒に笑ったり、喜んだりして遊ぶことにより、今まで以上にお互いの気持ちを伝え合うことができるようになる。

ウ 意識を変えること（意識）

【例】 親同士・親と子育て支援者との交流を通して、一人で抱え込まない育児の楽しさを実感することができる。

(例) 家庭教育支援をテーマとして . . .

① 個人の要望

- ・ ママ友がほしい。
- ・ 子育ての悩みを相談したい。

② 社会の要請

- ・ 家庭の教育力の向上。
- ・ 地域で子供を育てる環境作り。

③ 地域課題の発見・分析

- 子育てをしている親の育児不安を解消するために、地域ぐるみで子育てを支援する必要がある。
- 子育て中の親同士のつながりが十分に築けていない。

④ 学習目的の設定

- 子育てをしている親の育児不安を解消するために、育て中の親が、地域におけるネットワークを形成する。

⑤ 学習目標の設定

- ◎ 親同士・親と子育て支援者の交流を通して、いろいろな子育ての方法があることを知り、一人で抱え込まない育児の楽しさを実感する。
- ◎ 子供と一緒に笑ったり、喜んだりして遊ぶことにより、これまで以上にお互いの気持ちを伝え合えるようになる。

学習プログラムを開発しよう

1 学習目的の設定

どのように地域課題を解決し、どのような状態にしたいのかを文章化する。（シートAから転記）

2 学習目標の設定

学習課題を学習目標として文章化する。
(シートAから転記)

- ①学習活動の指針となる目標が設定されているか。
- ②学習者の知識・技能の習得や意識・態度の変容が目標として示されているか。
- ③具体的でわかりやすい言葉で示されているか。

3 プログラム名

魅力的で夢があるもの、学習目標が伝わるもの
ユニークで、短く、人の心をキャッチするもの

4 対象・定員

目的や目標にあわせて絞り込む

5 参加費

施設使用料, 食費, 材料費, 保険料,
計〇〇〇円 (申込時払い) など,
内訳や集金日時をはっきりさせる。

6 事前に必要な知識や準備物

いざというときの医療機関の情報収集,
しおりやアンケートの作成, 必要物品の手配等

7 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標(◎) 学習内容	学習 支援者	学習 場所	評価 (振り返り の方法)

第1回○月○日
10:00~16:00

チラシに掲載する各回のテーマを内容がわかるように、簡潔に書く。

◎参加者が…によって
○○になる。

①【講義・演習】
…を知る。(○○分)
…を聞く。(○○分)

②【ワークショップ】

③【参画】
…を話し合う。(○○分)
…を計画する。(○○分)

講師,
指導者,
ボランティア

アンケート
インタビュー
行動観察
成果物の分析

○○公民館
○○研修室
○○キャンプ場等

学習プログラムの 評価について



学習プログラムを なぜ評価するのか？



〔学習プログラム〕
講座，行事等の集合学習の機会におい
て，住民の学習を支援するための計画

学習プログラム開発におけるPDCAサイクル

PLAN

学習ニーズの把握や対象の分析
企画立案

(目的, 目標, 対象, 学習内容・方法, 時期,
会場, 回数等を定める)

DO

実施・運営

(会場・設備・資料等準備, 役割分担確認 等)

CHECK

学習プログラムの評価,
学習成果の評価 等

ACTION

学習プログラムの改善, 一般化



学習プログラム開発におけるPDCAサイクル

PLAN

学習ニーズの把握や対象の分析

企画立案

(目的, 目標, 対象, 学習内容・方法, 時期, 会場, 回数等を定める)

DO

実施・運営

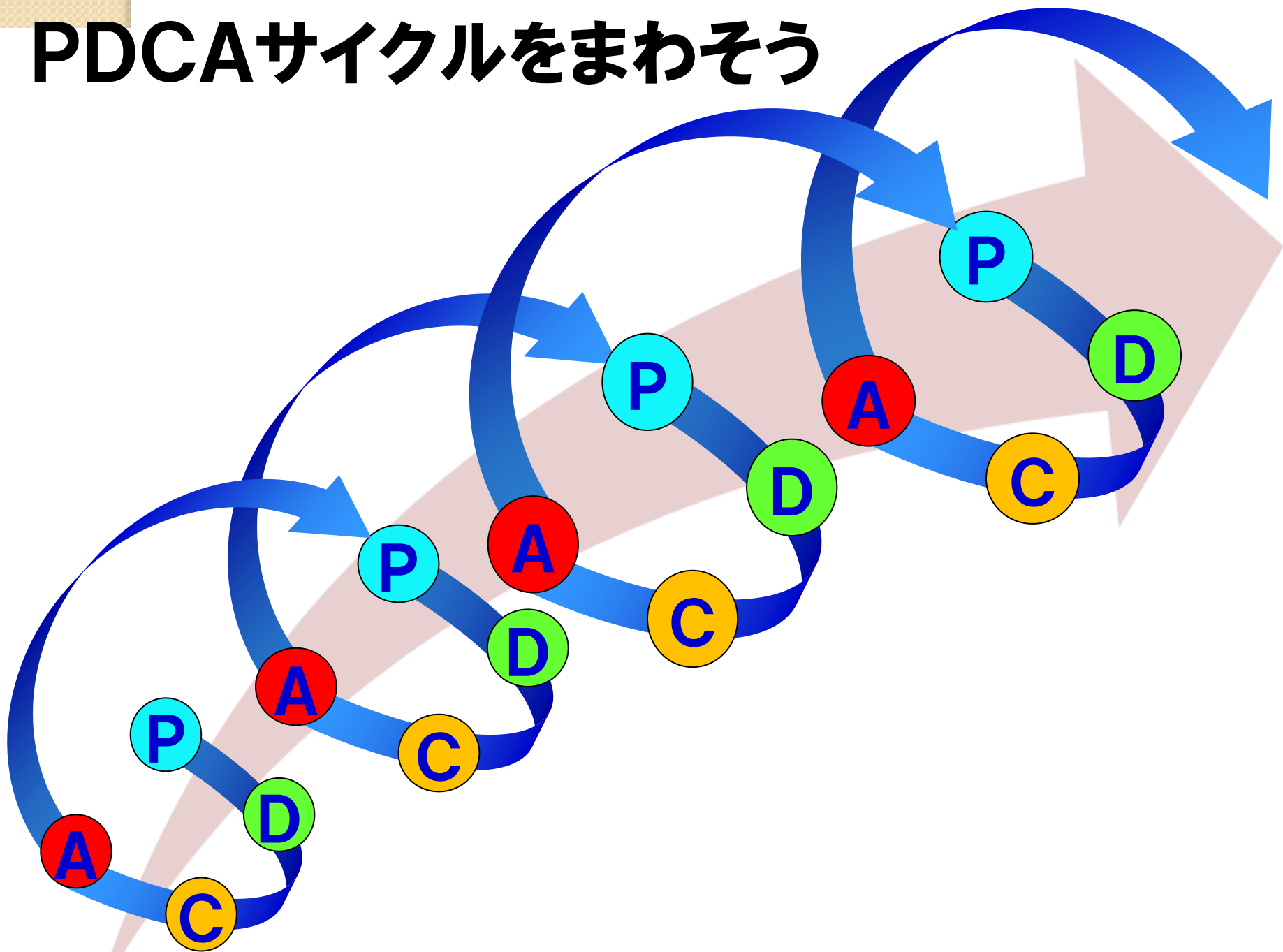
(会場・設備・資料等準備, 役割分担確認 等)

→ **前例踏襲**

→ **マンネリ化**

→ **停滞 . . .**

PDCAサイクルをまわそう



中長期期的な見通しをもった事業

共助の精神でつくる
防災に強いまちづくり

今年の参加者が「支援者」として関わる「第2回防災講習会」を開こう。

講習修了者による防災対策のための「ボランティアサークル」を結成しよう。

5年後

3年後

「ボランティアサークル」や市の担当部局と連携・協力し、「災害時対応マニュアル」を作成しよう。

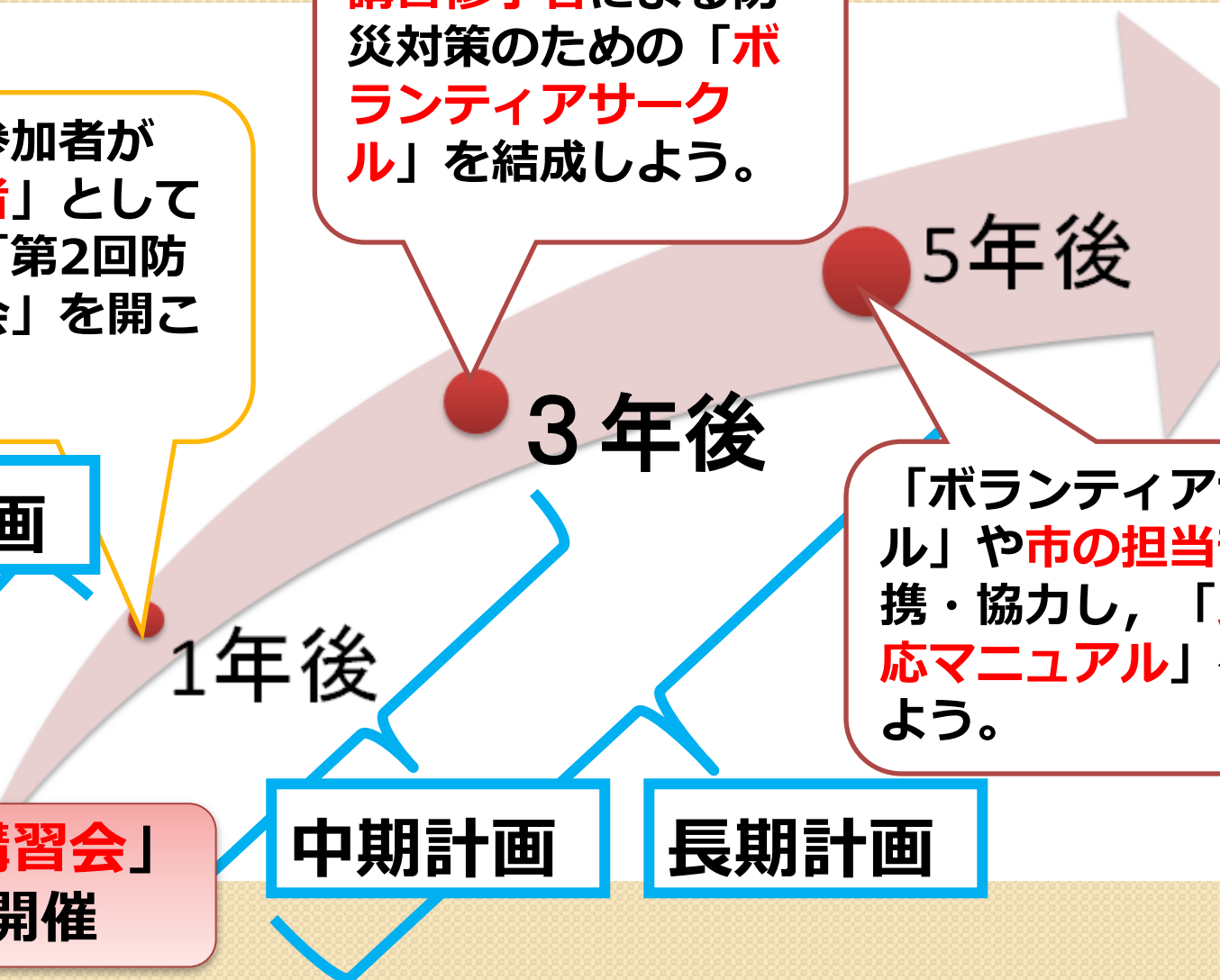
1年後

年間計画

「防災講習会」の開催

中期計画

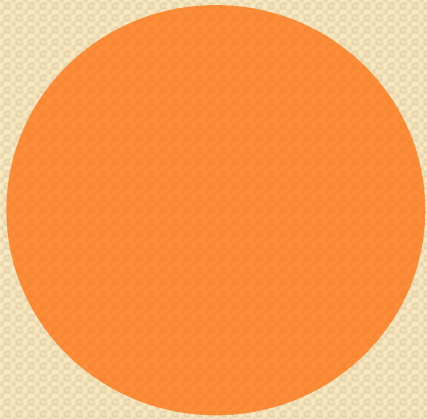
長期計画



学習プログラムを評価する意義

- PDCAサイクルの最終ステップ（**事業の改善・充実**）
- 次年度計画の**説明根拠**となる資料
- **アカウントビリティ**の必要性
- **中長期的**な見通しのなかでの事業運営
（人材育成，地域づくり等の事業は短期では達成しづらい）
- **学習者自身が**，達成感・充実感を確認する
 - ⇒意識づける = **「振り返り」**の教育的な意義
 - ⇒学習成果の活用・還元

学習成果を「見える化」し、
「次へつなげる」ための活動



**何を成果として
評価するのか？**



主に評価する項目

● 学習プログラム自体の評価

- ① 計画した活動の準備，実施順序，活動内容，目標設定等は適切であったか
- ② 活動を実施したことによって起きた結果

● 学習者の学習成果の評価

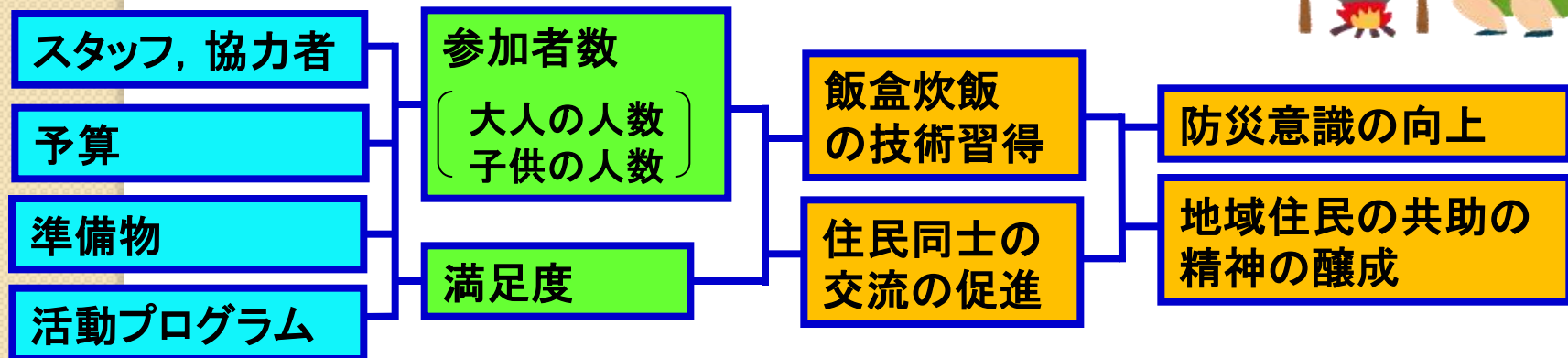
- ③ 学習プログラムの目標はどの程度到達できたか
- ④ プログラム立案者が想定していなかった成果，新たな気づきや展開（波及効果）はないか

学習プログラムの評価

学習成果の評価

みんなで学ぶ！防災デイキャンプ

災害等の非常時に備え、地域住民で飯盒炊飯をしよう！



P

① 計画

D

② 実施結果

C

③ 目標の到達度

C

④ 目的の達成に繋がる
中長期的な見通し
(波及効果)

アウトプット

アウトカム

アウトプット

事業の実施によって直接的に生じた結果

参加者・修了者数, 学習者の満足度,
学習成果物 (人材, 作品・発表資料etc.) など

アウトカム

事業の実施により発生した成果

(効果, 変化, 影響)

知識・技能の習得, 意識・行動の変化
アウトプットの成果物の応用・活用 (価値),
環境の醸成・ネットワーク形成など
→アウトカムの中には中・長期的な成果に
つながるものが多い

評価の方法

- ① 「振り返りアンケート」の結果
- ② 学習参加の実態の情報収集
- ③ 感想文
- ④ 一部の受講者への聞き取り
- ⑤ 学習活動の観察から情報収集
- ⑥ 会場での発言，質問，拍手，挙手などの反応
- ⑦ 学習成果物（作品，発表資料）
- ⑧ 学習活動の記録

実施した結果（アウトプット）

把握すべき実態

○参加者数

○参加者の実態をより深く知るデータ

例) 性差・年齢・居住地域・学習経験など

○学習成果物

例) 作品・発表数

注意！ 学習歴や参加動機・きっかけなどは含まない。

(学習評価≠学習ニーズ調査)

学習目標の到達度（アウトカム）

把握すべき実態

- ① 知らないことを知ることができたか（知識・理解）
例）・理解できたかどうかその場で聞く
・チェックリストの活用など
- ② 技能，実技を身に付けることができたか（技能・表現）
例）・成果物，発表内容の活用
・活用の方法や場面を尋ねる
- ③ 意識が変わったか（関心・意欲・態度）
例）・意見交流や発表の内容を記録
・アンケートの自由記述の活用

聞きにくいが、
やっぱり
③が大事！

目的の達成に繋がる中長期的な見通し 波及効果を発見する（アウトカム）

把握すべき実態

この事業の次の展開を考えるうえで、必要な情報とは？

- 学習目的の達成に繋がるような成果
例) 人的あるいは情報ネットワークの形成の有無
- 次の事業立案のヒントとなるような情報
- リピーター（継続的な学習参加者）となってもら
うためのニーズ調査

グループ交流

【演習】

モニタリングシートをもとに意見交流をしましょう。

○事業内容の紹介

○成果的項目・総合項目について

全 体 交 流

まとめ・振り返り

参考資料

- 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
『社会教育計画策定ハンドブック 計画と評価の実際』（平成23年）
- 平成24年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修（初級研修）
フォローアップ研修資料
（広島県立生涯学習センター生涯学習推進マネージャー
〔広島経済大学准教授〕 志々田まなみ）
- 原義彦「事業評価の技法」『生涯学習研究e事典』日本生涯教育学会
（<http://ejiten.javea.or.jp/>：2018年6月14日参照）